

グループワーク支援ChatBot ～友ホンChatBot～

チーム名：市川ゼミⅡ C

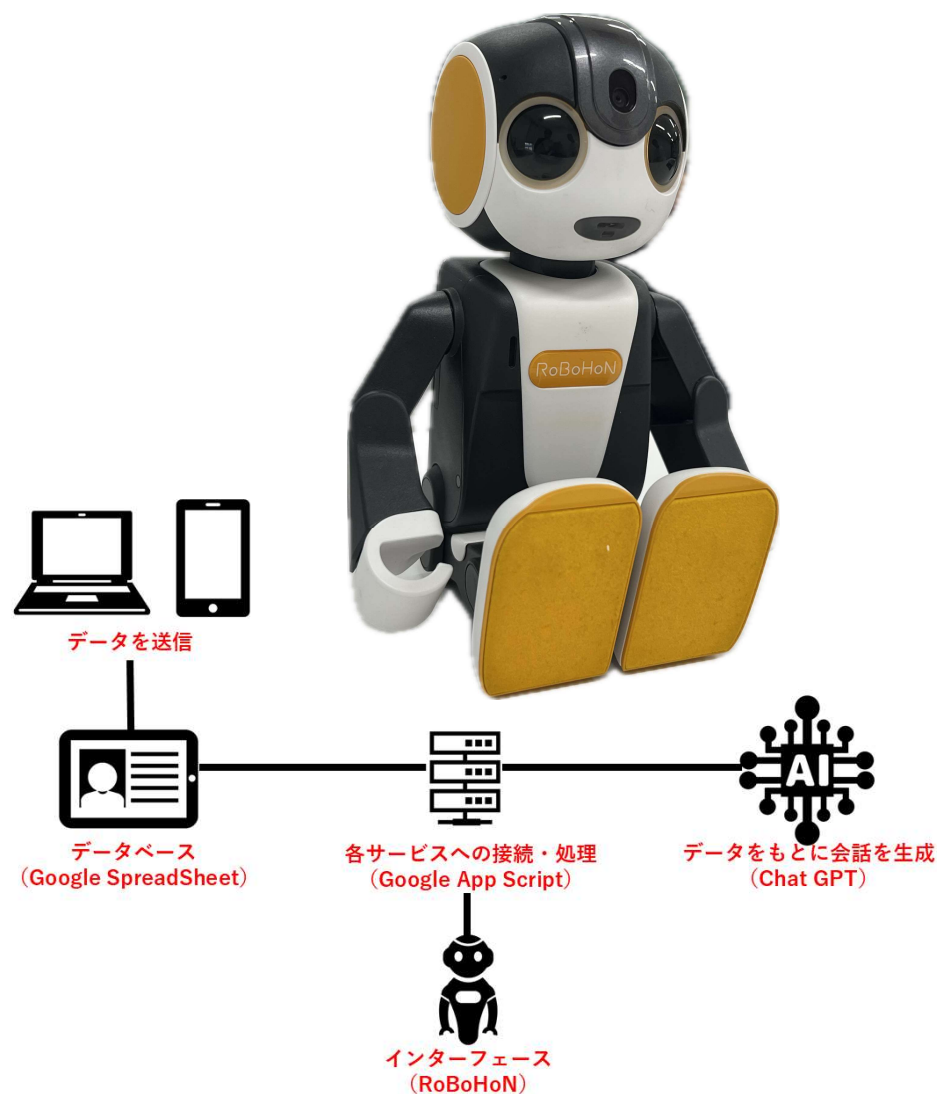
小栗 雅貴 長田 琉空 大野 晟
笹内 瑞希 清水 光誠

開発背景

- グループワークでアイスブレイクを行うときの話題がなくて話せない
- グループごとに適切な話題を提供できない
- 強制力を持ったコミュニケーションシステムが欲しい

使用した技術

- Google Form
- Google スプレッドシート
- Google Apps Script
- Chat GPT
- ROBRICK



開発内容

グループワークの際、
メンバーのプロフィールをもとに話題を提案し、
自然な会話のきっかけを作るChatBotを開発

主な開発内容

- プロフィール入力のためのFormsを作成
- ロボホンがchatGPTと連携するようGASでAPIを開発
- QRコードでプロフィールを呼び出せるようAPIとロブリックを調整

システムの流れ

ユーザー登録

1. Google Formでプロフィールを入力
2. プロフィールデータをGoogleスプレッドシートに保存

利用

1. ロボホンがグループメンバーの学籍番号からQRコードで読み取る
2. スプレッドシートに保存されたデータからグループメンバーのプロフィールを抽出
3. グループメンバーのプロフィールをもとにChatGPTが共通点など話題を生成
4. 生成されたアイスブレイクのための話題をロボホンが提供

メリット

このシステムを利用することにより、
グループ単位で適切な話題提供ができる上に、
強制力を持った**第三者的な立場**として
会話を仲介することでアイスブレイクが円滑に
行われる。

今後の展望

- 現在、ChatGPTからの話題提供は1度きりにとどまっているため、その後の会話が**複数回継続**することを目指す。
- 提供する話題についてもより**高度な会話の実現**を目指す。
- ロボホンとChatGPTを直接連携させることによって単なる話題提供者にとどまらずメンバーの一員であると感じられるような親しみやすいシステムづくり